

1	審議会名	平成24年度第3回城南公民館運営審議会
2	日 時	平成25年3月4日(月)午後 1時30分から午後 5時00分まで
3	会 場	上田市城南公民館1階まちづくり活動拠点室
4	出席者	荒木昇会長、岩下和江副会長、有賀西夫委員、堀内泰委員
5	市側出席者	池田館長、滝沢次長、小林統括主査、田中社会教育指導員、中村実社会教育指導員、中村典子社会教育指導員
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成25年3月11日

協 議 事 項 等	
1	開 会 (滝沢次長)
2	荒木会長あいさつ 24年度の事業実績と経過報告に基づき今年度の反省と今後の方向性を審議してもらいたい。 池田館長あいさつ 新しい体制で初めての会議である。今年度駐車場が手狭だったか何とか事業をこなした。これから公民館活動が活発になるがよろしくお願いしたい。
3	審議事項 (1) 平成24年度実施事業概要について (ア) 分館振興、体育系事業概要 (委 員) 事業実施時の駐車場の割り振りは係ごとでなく地域ごとにできないか。また25年度の駐車場の借用についてどうなっているか。 (事務局) 事業が他にないときは、なるべく詰め込みで駐車してもらおうようにしている。なお土地開発公社の土地も単発で借用できればと思う。25年度は民間用地を1ヶ所借用する予定でいる。また夜間は周辺民間地を借用している。 (委 員) 上小東御公民館研修会の事例発表を聞きに行きたかった。発表者はPTA会長もつとめ子どもの育成に積極的である。他の分館にも刺激になるので、ぜひ発表の機会をつくってほしい。 (イ) 公民館主催講座事業概要 (委 員) 今後の活動もふまえて、終了後アンケートを実施したらどうか。 (事務局) 朝の筋トレストレッチはアンケートをとりサ－クル化したものである。 (委 員) 申込みですぐいっぱいになり、参加できない講座がある。希望者全てが参加できる方法はないか。 他公民館では、定員オ－バ－の場合はくじ引きを実施した。これない人は職員が代行する例がある。 (事務局) 自然観察会は抽選を実施した。公民館事業は公平、平等が原則である。また今後時代に即した講座、地域性を考慮した講座を開催できるようアンテナを高くしたい。 (委 員) 利用者団体会議の際、予約を公民館で押さえてもらってあるところがあるとの声を聞いた。 (事務局) 抽選で大ホ－ルは月2回まで使用することができる。これは決定事項なので

こちらでも、入れることができる。

(委 員) 5,6 年前に庭木の手入れ講座があり、女性が多く参加した。ぜひお願いしたい。

(委 員) 土足厳禁の大ホ - ル等でトイレに行く際、土足に履き替えるのが大変なため、そのまま館内履きで行く人がいるので、トイレ用の履物を用意していただきたい。

(事務局) 足袋などは履きかえることが難しいので用意したい。

(委 員) 土足のまま使用できる学習室に館内用スリッパに履き替えていく人がいる。入口ドアに表示をしたらどうか。

(事務局) 利用者の中に今も土足で入れるイメ - ジがあるので、掲示物で周知する。

(ウ) 人権同和教育関連事業概要

(委 員) 公運審が出席する人権関係の会議を教えて欲しい。

(事務局) 基礎講座、実務研修会、人権を考える集いに出席をお願いしている。

(エ) 福寿会(高齢者団体)関連事業概要

(委 員) 福寿クラブは年々少なくなっている。公民館から補助はあるのか。

(事務局) 城南地区福寿クラブへの委託料がある。会長が大変なのでなり手がなく、それがネックになっている。

(委 員) 入会していないクラブが事業に参加すると、入会しているクラブとの間にあつれきが生じないか。

(オ) 青少年育成事業概要

特になし。

(カ) ことぶき大学事業概要

(委 員) ことぶき大学の希望者状況は。

(事務局) 例年 40 名ほどいる。本年も 50 名の予定である。高齢者学園の卒業生もいる。

(委 員) 何歳以上が対象となるか。

(事務局) 60 歳以上からで最高齢は 80 歳代である。

(キ) 解放子ども会事業概要

(事務局) 学校の先生の参加が増えてよい状況となっている。今後は他会との交流にも重点をおきたい。生涯学習課からも行事への参加が増え交流ができてよかった。2 月に開催された県大会も東信地区からの参加がほとんどであった。子ども会の会員が少なくなり存続が難しい地域もあるが、城南も会員の確保が課題である。

(委 員) 現在は親の意識も変わりまた関係予算も削られてきている。

担当者には、具体的な活動報告をしていただきありがたい。

(2) 平成 25 年度城南公民館の使用、予約方法について

(事務局) 新しい館になっての使用方法が実質的に初年度ということもあり使用方法を細かく決めた。調整で決まった活動日は、権利ではなく利用者が自ら書き込んで決まることを意識づけることにした。今後多少トラブルが発生するかも知れない。

(委 員) 台帳への記入時時間がかかっている団体があるが。

(事務局) 利用者団体以外、活動日以外を希望する方が該当する。

他公民館との予約方法との違いもある。利用を重ねていく中で慣れてもらうしかない。

(委 員) 機材は利用者団体倉庫へは入れないということでよいか。

(事務局) そのように願います。

(委 員) 使用している中で、建物等に具合の悪いところが出てきているか。

(事務局) ところによってひびが生じているが、見てもらうことになっている。

(委 員) 音響の他の学習室への漏れは小さいのでよい。なお、机の収納庫への入れ方は周知が必要である。

(事務局) 陶芸室、美術工作室の暖房については、今後検討したい。

4 報告

平成25年城南地区分館役員について

5 今後の日程

6 その他

今回は5月の第1水曜日の午前に開催予定

7 閉 会